

「資金繰り」を知り「経営の本質的な課題」を発見する

経営者・経理部長に必須の管理知識

キャッシュフロー経営

企業体質を強化する実践セミナー

「利益」と「お金」の関係から銀行との付き合い方まで

企業の目的は「利益」を作り出し、企業を存続させることになりますが、利益がでていっても「キャッシュフロー」「現金」が獲得されないこともあります。非上場の中堅企業はおぼつかなくなります。資金が不足しがちな企業ほど「お金と利益の関係」や「会社のお金の計算書の作成義務こそありませんが、資金が増やし方」を理解し、安定経営を実現しなければなりません。本セミナーでは、「利益」と「キャッシュフロー」の違いを理解したうえで、資金繰りの問題や対策を、銀行との付き合い方など資金調達の具体策とかつめてわかりやすく解説します。経営に携わる方だけでなく、経理担当の方もぜひご参加ください。

■ 開催日時 平成26年10月25日（土）午前10時～午後4時30分

■ 研修会場 大阪府工業協会・研修室（大阪市中央区本町4-2-5本町セントラルビル）

■ 講 師 石橋 研一 氏（税理士・中小企業診断士）



地下鉄本町駅より 徒歩1分

平成7年大阪大学経済学部卒業後、住友銀行入行。平成10年公認会計士事務所入所、税理士業務に加え、さまざまな財務コンサルティング業務に従事。平成18年独立。税務顧問として中小企業経営者の経営全般の相談に対応するかたわら、資金調達や事業再生のコンサルティング業務にも従事している。一般社団法人大阪中小企業診断士会・理事、大阪府中小企業再生支援協議会・個別支援チーム構成員、さいせい㈱・取締役などを務めている。

■ 受講費 1名様につき 会員企業の方 24,840円（受講費 23,000円 消費税 1,840円）
非会員企業の方 30,240円（受講費 28,000円 消費税 2,240円）

振込先 三井住友銀行 備後町支店 当座201068
りそな銀行 大阪営業部 当座1027054

■ 申込方法 裏面の受講申込書に必要事項をご記入のうえ、当協会宛にFAXでお送りください。
折り返し、受講票・請求書・会場案内図と振込用紙をお送りいたします。
研修当日・前日の受講取消は受講費を全額ご負担いただきます。（代理出席可）

お申し込みFAX番号⇒06-6245-9926

※申込書に記載していただいた内容は、事務処理（受講票・請求書の発行等）・担当講師への受講者名簿の送付のほか、研修内容の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の場合、当協会までご連絡ください。

主催 公益社団法人 大阪府工業協会

〒541-0053 大阪市中央区本町4-2-5
TEL:06-6251-1138 FAX:06-6245-9926
URL:<http://www.opmia.or.jp>

1 決算書の読み方

- (1) 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の関係を理解する
- (2) 押さえておきたい会計のルール
 - ・発生主義・費用収益対応の原則
- (3) 良い決算書とは

2 資金繰りと利益の関係－キャッシュフロー計算書を理解する

- (1) 資金繰りと利益の関係性～売上が増えるとお金がなくなる？～
- (2) キャッシュフロー計算書の基本を理解する
- (3) 資金繰り改善の具体策
 - ・貸借対照表による資金繰り改善策
 - ・損益計算書による資金繰り改善策

3 キャッシュフロー計算書の作成演習と改善の着眼点

- (1) 誰でも作れるキャッシュフロー計算書
 - －財務知識がなくとも作れるフォーマットを使って
 - キャッシュフロー計算書作成の演習を行います。
- (2) キャッシュフロー改善のポイント
 - ・営業キャッシュフロー改善の方法
 - ・投資・財務キャッシュフローの改善の方法

4 中小企業におけるキャッシュフロー経営のポイント

- (1) 黒字倒産の防止策
- (2) 銀行との付き合い方
- (3) 資金繰り計画の立て方
- (4) キャッシュフローを意識した財務計画の立て方

※ 講義の際は危卓をお持ちください
 ※ 講義内容の撮影・録音等はご遠慮ください

受講申込書

キャッシュフロー経営

2014年10月25日(土)開催

KAU-3231-0856

会社名			申込 担当者	部署/役職 氏名
所在地	〒 -			
TEL	FAX		従業員数	名 資本金 万円
受講者	部署	役職	氏名	※受講費 ______名 ____円を
				______月 ____日 銀行へ振込